

令和 2 年度
温泉熱の有効活用促進セミナー



企業組合 八幡平地熱活用プロジェクトが運営する農場『ジオファーム・八幡平』
コンセプトは 『馬ふんと地熱でつくっています』

この二つの地域資源を活用することで、地熱活用による地域産業の活性化を目指し、
持続可能な社会の構築とともに、この地域に馬がいる里山の景観を維持していくこと
を目標としています。



岩手県八幡平市松尾寄木 1-1483

TEL 0195-70-2850

<http://geo-farm.com>

企業組合 八幡平地熱活用プロジェクト

プロフィール

船橋 慶延

大手前大学 中退

大阪コミュニケーション
アート専門学校
・乗馬飼育調教科 卒業



2005年 馬運車修行のため運送会社で大型トラックドライバーとして勤務
2006年実家のお好み焼き屋さんのネットショップ立ち上げ
2008年から競走馬の育成関連の仕事に従事

那須トレーニングファーム
ハッピーネモファーム
加藤ステーブル に所属

2012年

震災をきっかけとして 岩手県八幡平市へ移住

2014年

企業組合
八幡平地熱活用プロジェクト設立

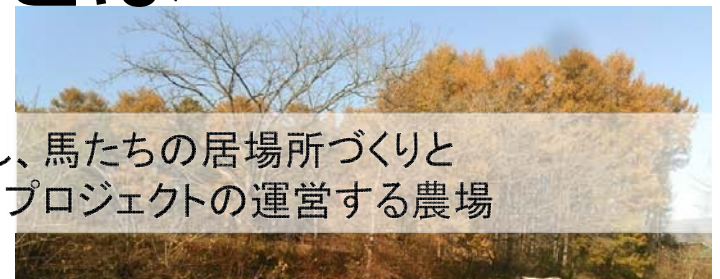
2015年

ジオファーム・八幡平
スタート



ジオファーム八幡平とは

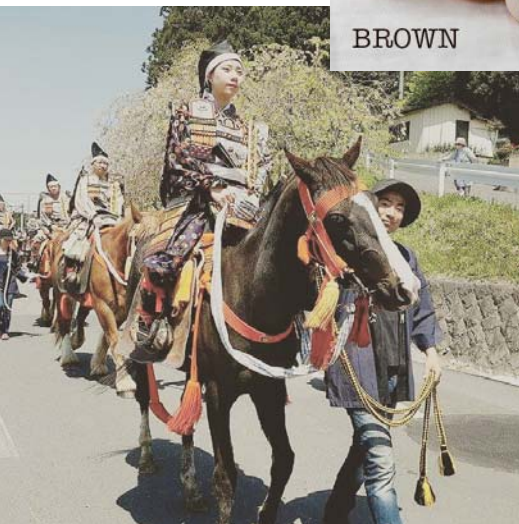
馬×地熱 で馬ふん堆肥の安定生産やマッシュルームを栽培し、馬たちの居場所づくりとサステイナブルな循環を目指している 企業組合八幡平地熱活用プロジェクトの運営する農場



BROWN



WHITE



ジオファーム八幡平の特徴

・ 温泉熱利用による高品質な馬ふん堆肥の生産

八幡平南温泉「旭日之湯」の敷地に2015年1月に設立された農場
引退競走馬のアフターケアの為に拠点整備と北東北で唯一のマッシュルーム農場



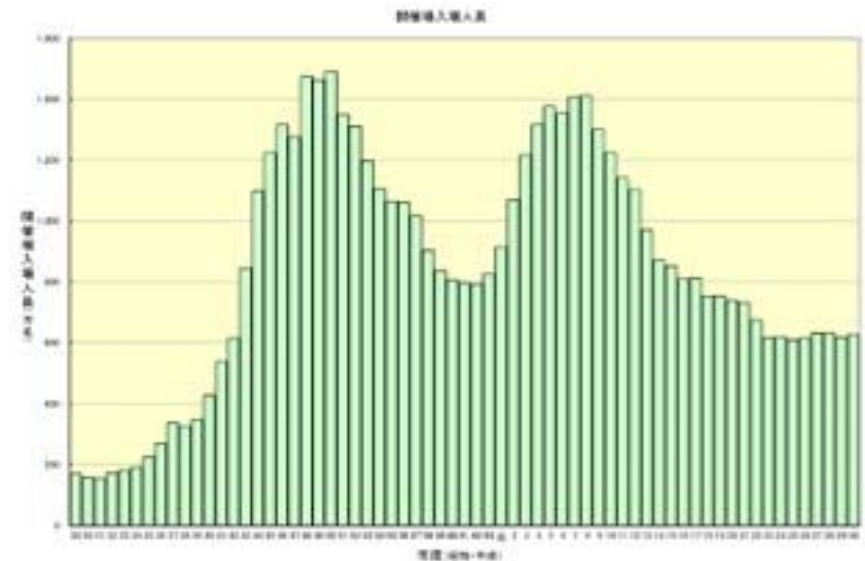
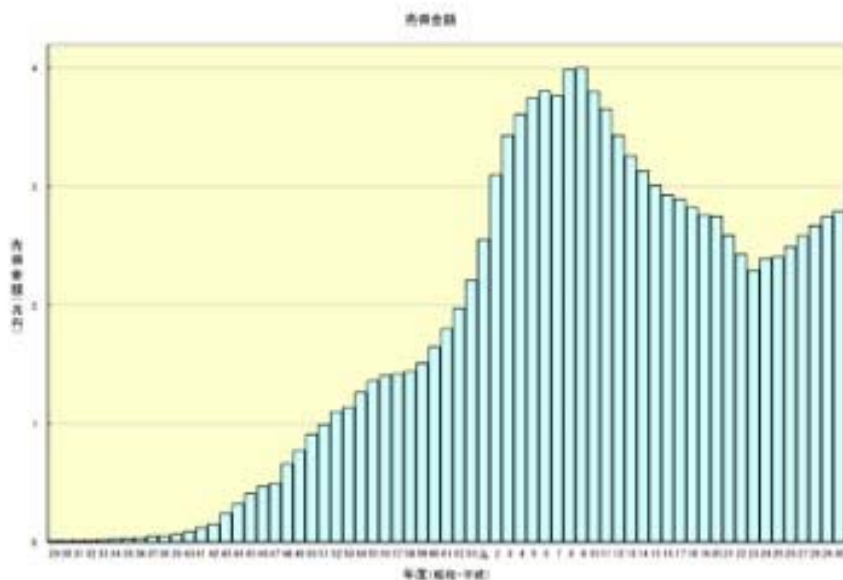
平成25年度 地熱理解促進関連支援補助金を活用し、
堆肥舎とマッシュルーム栽培ハウス整備される



ジオファーム八幡平の取り組み

① 馬

- 日本に飼育されている馬、約75000頭のうち約4万頭が競走馬として生産されるサラブレッド
- 世界でも有数の競馬大国（H30年JRA売り上げ 約2.8兆円）
（NARの売り上げ 約6000億円）



参考: JRA成長推移 過去最高は約4兆円 入場者 ここ数年は600万人

ジオファーム八幡平の取り組み

① 引退競走馬



世界的にも アニマルウェルフェアの観点の高まり

競馬の引退後に、と畜されてしまう馬も多くいるという情報が出回ることが多くなってきた

引退後の多様な馬の活躍の場が求められている

ジオファーム八幡平の取り組み

② マッシュルーム

- 日本におけるマッシュルームの生産量のピークは昭和47年の約15,000トンでピークに、平成12の2,500トンまで長らく減少傾向であった
- 最近の国内の総生産が約8,000トンまで回復してきた状況であるが、生シイタケの70,000トンやぶなしめじの118,000トンと比べると大きな大きな開きがある
- 昭和時代の方が生産量が多かった要因としては、稲わらが十分に活用できたこと、稲作農家の冬場の所得確保として生産が推奨されたことであったが、その後機械化、コンバイン収穫などの効率化で稲わらの発生が減少した

◎ 食文化の変化で、マッシュルームへのニーズが高まっている
また、植物由来のたんぱく質の確保や、菜食、ヴィーガンへの対応も広がる

八幡平マッシュルーム

ジオファーム八幡平は、北東北唯一のマッシュルーム生産農場

- 岩手県、北東北で唯一のマッシュルームファーム
- H25年度地熱理解促進関連補助事業のハード整備事業においてファームの立ち上げ
- H29年2月にマッシュルーム生産と国内トップシェアの芳源マッシュルーム(株)との協力協定を締結し、生産技術の向上と安定生産に取り組む
- マッシュルームの伝統的な栽培方法には馬厩肥が不可欠

2020年9月「八幡平マッシュルーム®」が地域団体商標へ登録査定へ

2015年生産
開始 生産
量23トン

2016年生産
量 40トン

2017年生産
量 52トン

2018年生産
量64トン

2020年目標
80トン以上



マッシュルーム栽培は人
手のかかる産業のため、
雇用の創出にも貢献

マッシュルーム国産
生鮮ニーズの高まり



- 映像
- ジオファーム八幡平
- 八幡平マッシュルームについて
- 1分30秒

馬とマッシュルームで、サステナブルな循環と共生を目指して

『馬厩肥を使うことが伝統的な栽培方法』

マッシュルームは、17世紀のフランスで人工栽培の手法が確立されたと言われています。植物学者が馬房の敷き藁からマッシュルームを発見し、馬厩肥を使った栽培方法がベースとなって世界に広がっていきました。この背景から、馬がいるからこそ伝統的なマッシュルームの栽培方法であるのに繋がります。

歴史的背景のある岩手競馬の魅力

岩手県央～県北地域は、馬産地岩手という歴史的背景と共に、最近では地層学的にも1000年以上続く草原が多いことが注目されています。小岩井農場が近代競馬に与えた影響は大きく、明治40年にイギリスから輸入された繁殖牝馬の子孫たちが大きく繁栄し日本初の三冠馬セントライトが生まれた地でもあります。

馬と人との関係を持続可能なものにするためには・・・競馬産業や乗馬産業以外で、新たな馬に関わる産業の創出



馬とマッシュルームからつながる SDGs(持続可能な開発目標)



2015年の9月25日－27日、ニューヨーク国連本部において、150を超える加盟国首脳の参加のもと「国連持続可能な開発会議」が開催され、その成果文書として、すべての国連加盟国(193カ国)の合意の下採択されたのが「我々の世界を変革する:持続可能な開発のための2030アジェンダ」

全人間、地球の繁栄のための議題、行動計画として、宣言および目標が設定されたものが、17の目標と169のターゲットからなる

「持続可能な開発目標(SDGs)」と言われる。

2000年～2015年間の目標はミレニアム開発目標(MDGs)

ジオファームで重視する目標

- 3・ すべての人に健康と幸福を … 美味しい、そして安全なマッシュルームをみんなに！！
- 7・ エネルギーをみんなにそしてクリーンに … 八幡平の地熱活用と、再生可能エネルギーで栽培を推進！
- 8・ 働きがいも経済成長も … 多様な馬たちの活躍の場を！引退競走馬のアフターケアも広げよう！
- 9・ 産業と技術革新の基盤をつくろう … 有機資源活用にはIoT 循環の見える化にはブロックチェーン！
- 10・ 人や国の不平等をなくそう … 欧米の国々の馬の飼育頭数桁違い！ 乗馬人口は150万人前後、日本は10万人以下！
- 12・ つくる責任 つかう責任 … 馬とマッシュルームをちゃんとつくる！そしてエシカルな消費の促進！
- 13・ 気候変動に具体的な対策を … 低炭素、脱炭素社会に向けた持続循環社会を馬とマッシュルームで
- 15・ 陸の豊かさも守ろう … 有機資源がぐるぐる回って、うまい&ウマにいいスタイルを確立させよう！
- 17・ パートナリシップで目標を達成しよう … みんなの力でサプライチェーンとバリューチェーンを最大化！

